



～外部講師を招き34名が受講～ コンクリート品質確保勉強会開催



当事務所で事業実施中の「上北天間林道路」の品質向上のため、10月19日(月)に八戸工業大学の阿波教授(写真左)を講師として招き、コンクリート品質確保勉強会を開催しました。(開催場所：十和田市内)

勉強会には、施工業者21名(15社)及び当事務所職員13名の計34名が参加し『**コンクリート構造物の品質確保に関する最近の話題**』をテーマに、「東北地方でのコンクリートの耐久性確保」「施工状況把握シートの役割」「施工における工夫例」など、寒冷地域という特色を踏まえた品質確保の重要性や、施工上の留意点等について、約2時間ほど受講しました。

また、「上北天間林道路」で施工された函渠工(七戸町字榎林中田地区)の現場を、実際に施工状況把握チェックシートを活用しながら見学し、コンクリートの品質確保について、一層理解を深める機会となりました。



函渠工(七戸町字榎林中田地区)
現場見学の様子



施工状況把握チェックシートを
活用しながらの見学の様子

阿波教授から、今回の勉強会のまとめとして取り上げられた「**人・技術・仕組み**」を3つの視点に、施工者側・発注者側共に、コンクリートの品質確保を推進することで、最高品質のインフラを次世代につなげていければと思っております。